



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,781	5.6	572	14.7	585	13.2	316	0.7
27年3月期第2四半期	4,526	6.2	499	5.9	516	7.5	314	10.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 221百万円(△39.0%) 27年3月期第2四半期 362百万円(21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	95.85	—
27年3月期第2四半期	95.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,724	10,058	72.0
27年3月期	13,775	9,903	70.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,878百万円 27年3月期 9,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	20.00			
28年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,850	2.7	1,200	1.3	1,220	0.9	760	3.5	230.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名)株式会社 星エンジニアリング

当社の連結子会社であった株式会社星エンジニアリングは、平成27年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	3,601,681株	27年3月期	3,601,681株
28年3月期2Q	298,394株	27年3月期	298,279株
28年3月期2Q	3,303,337株	27年3月期2Q	3,303,431株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の減速を受けた輸出の伸び悩みや在庫調整の長期化などから、外需関連に弱さが見られましたが、内需関連においては底堅い動きが見られました。

当社グループを取巻く環境は、高齢者人口の増加を背景にヘルスケアのニーズへの多様化に対する各種サービスの質と効率化が大きく求められており、依然として厳しい環境が続いております。

一方、我が国の医療行政におきましては、社会保障と税の一体化改革で描かれた、医療・介護の将来像に向けた機能分化の医療制度改革が推し進められており、医療・介護分野における変化を確実に捉える重要性が増しております。

このような環境のもと当社グループは、いち早く在宅医療・介護・福祉等に関わる顧客ニーズの多様化を視野に、状況に即した対応に努め、各種ノウハウの蓄積と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は4,781百万円(前年同四半期比5.6%増)と増収を確保し、利益面でも、連結営業利益は572百万円(前年同四半期比14.7%増)、連結経常利益は585百万円(前年同四半期比13.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は316百万円(前年同四半期比0.7%増)の増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間よりセグメントの業績をより適切に評価するために費用の配賦基準を変更しております。このため、前第2四半期連結累計期間の各セグメント利益については変更後の算定方法により組替えて比較をおこなっております。

①医療用ガス関連事業

当部門は、薬剤や医療機器の進歩、並びに患者様の身体的負担を軽減する医療技術の浸透などにより、術後のケアが短期間となり、従来に比べて入院日数が減少していることから、医療用ガスの消費量は鈍化の傾向にあります。

このような環境の中、迅速な対応と安定供給はもちろん、医療用ガスの生産性と収益性のバランスを考慮し、新規取引先の開拓と既存取引先への高付加価値サービスの提供に注力してまいりましたが、売上高は1,654百万円(前年同四半期比0.9%減)、セグメント利益は118百万円(前年同四半期比34.7%減)となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、以前より重要な収益源の一つとして当社グループ全社をあげて、在宅療養の患者様への機器とサービスを提供し、拡大をおこなってまいりました。HOT(在宅酸素療法)等の診療報酬改定は、次回平成28年度におこなわれますが、報酬ダウンが予想されております。

このような環境の中、患者様の日常生活のトータルサポートを目的に自社開発した「パレッツ」や「人工呼吸器」、「CPAP」(持続陽圧呼吸療法一閉塞型睡眠時無呼吸症に対応する機器)を主に、きめの細かい営業活動をおこないました。

これらの結果、売上高は1,874百万円(前年同四半期比8.3%増)、セグメント利益は321百万円(前年同四半期比13.5%増)となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、メンテナンス・工事の両部門において、医療機関の耐震補強工事や老朽化による増改築工事、メンテナンス工事の需要が継続しております。丁寧な施工と迅速な対応を計画的におこなっておりますが、工事物件の竣工時期が下期以降になるものもあるため、売上高は476百万円(前年同四半期比3.4%減)、セグメント利益は81百万円(前年同四半期比383.2%増)となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、在宅並びに医療機関や医療施設等へ取扱商品の販売とレンタルの他、訪問看護・居宅支援事業所の運営管理をおこなっております。販売とレンタル部門につきましては、幅広く取扱商品を増やして効率的な営業活動をおこないました。また、今後の需要が大きく期待される訪問看護・居宅支援事業所におきましては、平成26年8月に開設いたしました、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」(東京都文京区)の充実と、新たな顧客ニーズの把握と対応をおこないました。

これらの結果、売上高は261百万円(前年同四半期比25.2%増)、セグメント利益は14百万円(前年同四半期比65.9%増)となりました。

⑤施設介護関連事業

有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」(東京都杉並区)はご入居者様、ご家族様に「安心」「安全」「思いやり」を提供し、他施設との差別化を図るため、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携強化による付加価値サービスの提供を強化いたしました。

また、高齢化社会への対応として、通所介護施設「あしつよ・文京」(東京都文京区)、「あしつよ 巣鴨」(東京都豊島区)、「あしつよ 王子」(東京都北区)を運営管理し、地元に着したサービスの提供と新たな顧客ニーズの発掘に努めました。

これらの結果、売上高は161百万円(前年同四半期比17.3%増)と増収でしたが、利益面ではセグメント損失20百万円(前年同四半期セグメント損失35百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は13,724百万円(前連結会計年度末比50百万円減)となりました。これは、現金及び預金が54百万円、有形固定資産が182百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が306百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,666百万円(前連結会計年度末比204百万円減)となりました。これは、支払手形及び買掛金が188百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は10,058百万円(前連結会計年度末比154百万円増)となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が251百万円増加、その他有価証券評価差額金が99百万円減少したこと等によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの概況説明

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物は54百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末残高は、6,622百万円となりました。

各活動別の説明及び前年同四半期比

①営業活動により得られた資金は570百万円(前年同四半期比145百万円減)となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が584百万円となり、売上債権の減少による収入306百万円、法人税等の支払額240百万円があったこと等によるものであります。

②投資活動により使用した資金は278百万円(前年同四半期は2百万円の収入)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出156百万円、投資有価証券の取得による支出112百万円があったこと等によるものであります。

③財務活動により使用した資金は236百万円(前年同四半期比54百万円減)となりました。

これは、リース債務の返済による支出170百万円、配当金の支払額65百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社星エンジニアリングは、平成27年4月1日付で、当社を存続会社とし、当社の特定子会社である株式会社星エンジニアリングを消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当該特定子会社が消滅いたしました。

その結果、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、
支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、
取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更をおこなっています。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えをおこなっています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,567,582	6,622,437
受取手形及び売掛金	1,960,862	1,654,211
たな卸資産	152,537	158,291
繰延税金資産	68,973	69,351
その他	71,242	73,262
貸倒引当金	△5,647	△4,559
流動資産合計	8,815,550	8,572,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	574,447	555,481
土地	1,995,024	2,045,369
その他(純額)	933,817	1,085,247
有形固定資産合計	3,503,288	3,686,098
無形固定資産	43,686	29,337
投資その他の資産		
投資有価証券	801,538	763,292
その他	612,639	674,754
貸倒引当金	△1,698	△1,695
投資その他の資産合計	1,412,479	1,436,351
固定資産合計	4,959,454	5,151,786
資産合計	13,775,005	13,724,782
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,698	1,720,390
未払法人税等	255,870	286,138
賞与引当金	125,300	86,100
その他	785,629	709,676
流動負債合計	3,075,497	2,802,306
固定負債		
役員退職慰労引当金	456,240	456,060
長期預り保証金	4,468	1,783
その他	335,221	406,279
固定負債合計	795,929	864,123
負債合計	3,871,427	3,666,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	9,015,185	9,266,763
自己株式	△510,823	△511,197
株主資本合計	9,454,249	9,705,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242,977	143,564
退職給付に係る調整累計額	24,624	29,717
その他の包括利益累計額合計	267,601	173,281
非支配株主持分	181,726	179,617
純資産合計	9,903,577	10,058,353
負債純資産合計	13,775,005	13,724,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,526,508	4,781,852
売上原価	2,222,115	2,346,512
売上総利益	2,304,392	2,435,339
販売費及び一般管理費	1,805,129	1,862,615
営業利益	499,263	572,724
営業外収益		
受取利息	△54	2,219
受取配当金	6,348	8,308
受取保険金	8,464	-
その他	4,764	4,351
営業外収益合計	19,522	14,879
営業外費用		
支払利息	1,910	2,565
その他	64	-
営業外費用合計	1,975	2,565
経常利益	516,810	585,038
特別利益		
投資有価証券売却益	2,721	-
特別利益合計	2,721	-
特別損失		
固定資産除却損	181	146
特別損失合計	181	146
税金等調整前四半期純利益	519,351	584,892
法人税等	200,814	266,591
四半期純利益	318,537	318,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,035	1,684
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,501	316,615

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	318,537	318,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,821	△101,605
退職給付に係る調整額	△2,555	4,522
その他の包括利益合計	44,265	△97,082
四半期包括利益	362,802	221,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	356,419	222,296
非支配株主に係る四半期包括利益	6,383	△1,078

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	519,351	584,892
減価償却費	199,505	234,728
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	39,900	△180
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△70	△1,090
賞与引当金の増減額(△は減少)	300	△39,200
固定資産除却損	181	146
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,721	-
受取利息及び受取配当金	△6,294	△10,527
支払利息	1,910	2,565
売上債権の増減額(△は増加)	37,096	306,650
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,231	△5,754
仕入債務の増減額(△は減少)	227,737	△188,162
その他	△53,057	△80,244
小計	910,607	803,823
利息及び配当金の受取額	6,773	10,090
利息の支払額	△1,882	△2,565
法人税等の支払額	△198,922	△240,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	716,575	570,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85,242	△156,739
投資有価証券の取得による支出	△30,728	△112,214
投資有価証券の売却及び償還による収入	105,661	-
長期貸付金の回収による収入	5,988	3,364
その他の収入	20,471	580
その他の支出	△14,040	△13,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,108	△278,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△133,876	△170,629
長期借入金の返済による支出	△58,818	-
自己株式の取得による支出	-	△373
配当金の支払額	△99,181	△65,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291,875	△236,983
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	426,808	54,855
現金及び現金同等物の期首残高	5,874,716	6,567,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,301,525	6,622,437

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,668,967	1,730,207	493,407	208,549	137,983	4,239,115	287,393	4,526,508
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	18,151	—	—	18,151	—	18,151
計	1,668,967	1,730,207	511,558	208,549	137,983	4,257,266	287,393	4,544,659
セグメント利益 又は損失(△)	181,393	282,963	16,953	8,762	△35,039	455,033	46,488	501,521

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	455,033
「その他」の区分の利益	46,488
セグメント間取引の消去	△2,258
四半期連結損益計算書の営業利益	499,263

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,654,054	1,874,624	476,490	261,188	161,871	4,428,229	353,623	4,781,852
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,654,054	1,874,624	476,490	261,188	161,871	4,428,229	353,623	4,781,852
セグメント利益 又は損失(△)	118,524	321,303	81,922	14,538	△20,733	515,555	57,169	572,724

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	515,555
「その他」の区分の利益	57,169
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	572,724

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

(セグメント利益の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間よりセグメントの業績をより適切に評価するために費用の配賦基準を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間の各セグメント利益については変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。